

屋内屋外を問わずに **歩行だけで高精細な3D計測する**
 ウェアラブル型
 レーザースキャナ

日本インシーク

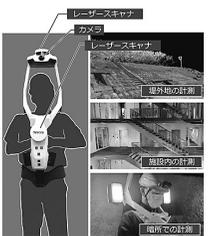
日本インシーク（大阪市の調査・計画・設計・維持管理の各ステップで活用している）。

六二八二〇三〇〇は、八月十七日〜二十日までインテックス大阪で開催された「下水道展」に、MMS（モバイル・マッピング・システム）を応用した製品各種を出展し、好評を博した。

MMSなどの3D計測技術に定評のある同社が導入した新たな3D計測技術が注目を集めている。

従来では、車両の進入できない歩道・林道・地下道・建物内部等ではMMSやUVによる3D計測は行えず、固定式レーザースキャナやハンディ型レーザースキャナを用いてきたが、計測に要する手間や計測精度等に課題があった。

このような点を改善すべく、歩行するだけで高精細に3D計測を行うことが出来るウェアラブル型レーザースキャナ「Navis VLX」を導入し、社会インフラ等

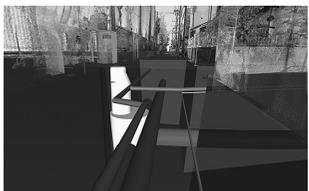


ウェアラブル型レーザースキャナ「Navis VLX」

また、2,000万画素のデジタルカメラを4台搭載しており、全周囲画像を同時に取得することが出来る。

計測機器は10キロ未満で、肩の上に乗せて歩行により計測を行うため、作業負担はさほど感じない。計測機器等に照明をつけることで、地下空間などの暗所での3D計測も可能。専用ケースに入れることで新幹線や飛行機でも容易に輸送ができることから、島しょ部を含む国内・国外の地域や場所を選ばずに活用が可能だ。

特に、取得した3D計測結果にBIM/CIMモデルで構築した計画・設計内容を合成することで、地下埋設物との干渉チェックや完成イメージの共有による関係者との意見調整に活用できる。



BIM/CIMモデルの合成例

3D PointStudio



配置・架空線との取合いを机上で確認することが出来るため、設計精度の向上や施工時の手戻り防止を図ることが可能である。

取得した3D計測結果は、自社アプリである「Road Site Survey」を用いることで直感的に閲覧・計測・CAD図面作成（平面図・縦断面図・横断面図）などを行うことが出来る。

また、iConstruction大賞・

優秀賞を受賞した「3D Point Studio」を活用して取得データを蓄積する「3D Point Studio」を経年的な維持管理への活用や取得データの多方面への有効活用を図ることが出来るようになる。

<http://www.insiek.co.jp/>